

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月10日 (2008.7.10)

【公表番号】特表2008-500390(P2008-500390A)

【公表日】平成20年1月10日 (2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2007-527488(P2007-527488)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 31/4468 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/20 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/36 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 31/4468

A 6 1 P 43/00 1 1 4

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 25/20

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/22

A 6 1 P 25/36

A 6 1 P 25/14

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月16日 (2008.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

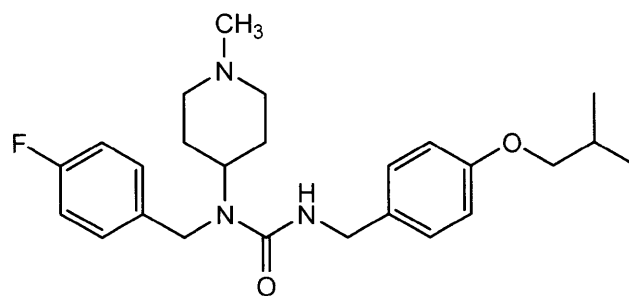
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化学式 (I) の化合物を有する第一の化合物と、

【化 1】



(I)

睡眠誘発作用薬又はその薬学的に許容可能な塩を有する第二の化合物とを含む医薬組成物。

【請求項 2】

前記睡眠誘発作用薬が、バルピツール酸、ベンゾジアゼピン、直接的 G A B A 作動薬、G A B A 受容体の正のアロステリック調節剤、及びベータカルボリンからなる群から選択される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記睡眠誘発作用薬が、アルプラゾラム、クロルジアゼポキシド、クロラゼペイト、エスタゾラム、フルラゼパム、ヒドロキシジン、ロラゼパム、ペントバルビタール、クアゼパム、セコバルビタール、テマゼパム、トリアゾラム、ベイリウム、ザレブロン、ゾルピデム、ゾピクロン、エスゾピクロン、ザレブロン、ガボキサドール、インディプロン及びアベカルニルからなる群より選択される、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

患者の不眠症を治療するための、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の医薬組成物。